

<https://sleep-natura.jp>

羽毛ふとんの手引き

羽毛ふとんを、長く快適にお使いいただくために正しい方法でお使いください



太陽光発電+再生エネルギー
100%電力で製造・リフォーム
を行っています。
電力のCO₂排出量は0です。



眠りのプロショップ Sawada

羽毛工房ダウンラボ

株式会社沢田商店 明治23年創業

〒526-0052 滋賀県長浜市神前町 9-11

TEL. 0749-62-0057

FAX. 0749-62-0094

URL <https://sleep-natura.jp>

E-Mail info3@sleep-natura.jp



より質の高い、快適な眠りのために 羽毛ふとんの正しい使い方 1

お買い上げいただきましたら

1. 内容をご確認下さい

さわだオリジナル羽毛ふとんの袋には、保証書や説明書、補修布等が入った透明のホルダーが入っています。(もし無い場合はご連絡下さい)

2. 保証書は保管しておいてください

保証書や説明書には目を通してご確認の上、保管しておいてください。サポートを受けるときに必要となります。さわだオリジナル羽毛ふとんの場合の保証期間は3年または10年です。さわだでは保証書に連番を振って、過去のデータを保存しています。紛失された場合でも、お買い上げいただいた方・電話番号等がわかればサポート可能です。

ご使用の前に

羽毛ふとんの特徴は、軽くて、保温性・放湿性に優れて、なおかつ長持ちするという多くの素晴らしい性質を持っていますが、その特徴を十分味わっていただくためにも、正しい使い方をマスターしましょう。

羽毛ふとんは必ずカバーを掛けてお使い下さい

カバーを掛けて、こまめに替えることが寿命をのばすポイントです。

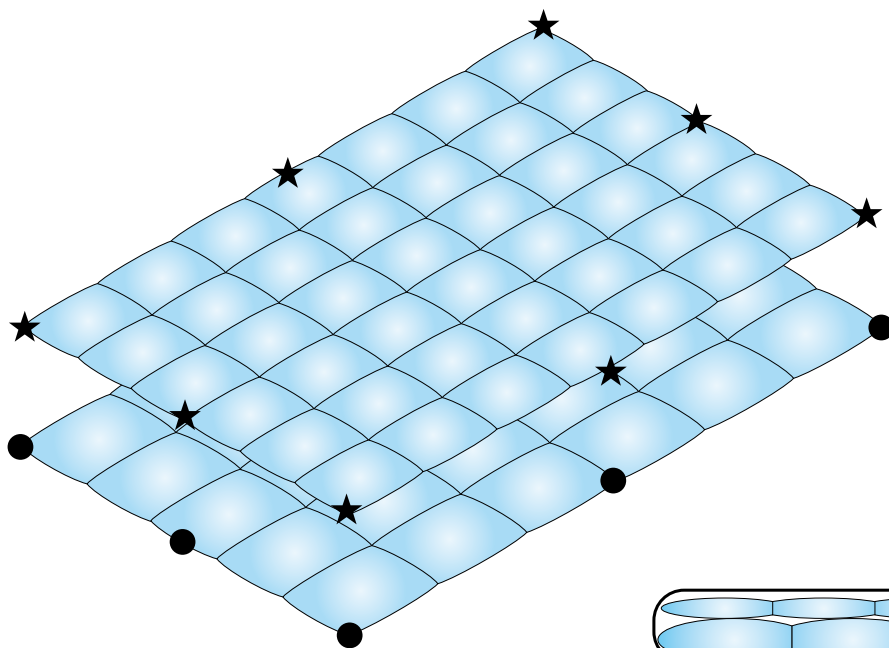
- ふとんの8ヶ所にはヒモをかけることができます。カバーについているヒモ(またはホック)をくくって、中でふとんがずれないようにして下さい。カバーによっては6ヶ所、もしくは4ヶ所のみのもがあります。できるだけ8ヶ所あるものをお選びください。
- 羽毛ふとんの表裏がわからない場合は横についている品質表示ラベルのサイズ表示があるほうを表にしてください。一般的に二層式キルト以外は表裏はありません。
- 特殊なもの除き、一般の羽毛ふとんに上下はありません。適当に上下を入れ替えてお使いください。



当社の2層構造の羽毛ふとんには「こちらが表面です」の表示がしていま

品質表示ラベル

中厚 (あるいは普通厚) と肌掛を二枚合せて使う時は



春・秋は普通厚 1 枚
又は中厚 1 枚
夏 は肌掛 1 枚
冬 は 2 枚重ね

2枚重ねて使う場合には、8ヶ所のヒモ掛け部を二枚一緒にまとめてくれます。

このとき厚手のふとんを下部にしたほうが、中でずれにくくなります。

より暖かく眠るために

■毛布は羽毛布団の上ではなく、中に使うのが正しい方法

天然素材の毛布を中に使ってください。ポリエステルやアクリルなどの合成繊維の毛布は、吸湿性が低く暖まった後に蒸れやすくなります。これでは、羽毛布団の天然の良さを損ねてしまいます。また、重量のある毛布を上にはけると、毛布の重みで布団がつぶれてしまい、保温力を低下させてしまいます。上にはける場合は軽い肌布団等をお使いください。

■薄手の天然素材の毛布を使うと肩が冷えない

ウールやカシミア、シルクなど風合いの良い天然素材の薄手の毛布がおすすめです。身体に巻き付けるようにすることで、暖まった空気を逃しません。肩が冷えるという方はぜひお試しください。素材の中ではカシミアが最も早く暖まります。

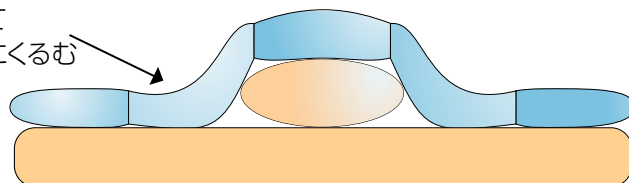
■暖かい生地のカバーを使う

毛布を使わない場合は、肌に当たる面がガーゼや起毛、ボアなど暖かい素材になったカバーをお使い下さい。毛布同様、ポリエステルやアクリルなど合成繊維は蒸れの原因となりますので、避けた方が無難です。

■ふとんをトンネル状に使う

下図のように羽毛ふとんをトンネル状にしてくるむようにして使うと、熱が逃げにくくなりより暖かく眠れます。

ここを押さえて
体に沿うようにくるむ



より質の高い、快適な眠りのために 羽毛ふとんの正しい使い方2

暑さを感じるようになってきたら

羽毛は保温性や吸湿発散性に優れ、温度と湿度の調節が得意な素材ですが、季節に応じて適切な厚さやカバーを選ぶことでより快適な眠りが得られます。

快適な寝床内温湿度は 33℃ 50%です

高温多湿の日本では、保温力だけでなく、湿度を快適に保つことが重要となってきます。吸湿性の悪い素材を寝具やパジャマに使っていると、温度が適温になってきたときに、湿度が高くなり蒸れて不快感が増し、睡眠の質を損ねます。

■春から初夏：蒸し暑くなる季節で使う場合

中厚●●●○○～合掛●●○○○～肌掛●○○○○を使います。

湿度が上がるので、カバーも軽量の綿ローンやリネン麻など乾きが早くサラッとした素材にすることで快適さが増します。

■夏：暑い時期の使い方

エアコンを使わない、最低限にする場合は羽毛布団より、側生地も中綿も麻100%素材の本麻布団の方がいいでしょう。エアコンを使用する場合は、肌ふとんに、綿ローンやリネン麻のカバーを組み合わせます。

体質・季節・住環境に合わせた最適な厚さの選び方

暑がりや寒がり・冷え性など体質によって使用する厚さが異なります。さらに伝統的な日本建築と、最近の高密度高断熱住宅では、羽毛布団の選び方が異なります。使う方によって最適な厚さの羽毛布団を選ぶことが大切です。

■暑がり、もしくは標準体質で高气密住宅の場合

新しいマンションや新築住宅は気密性が高いので中厚●●●○○を基本にします。基礎代謝量が高い若い男性や子どもなど、汗かきで暑がりの方もこちらです。

■標準体質で一般的な住宅の場合

一般的な選択です。普通厚●●●●○を基本に考えます。

■寒がり、気密性の低い和建築や部屋が寒い場合

保温力●●●●●の二層キルトや、中厚●●●○○+肌掛け●○○○○の2枚重ねを使います。2枚重ねの方が保温力は上がり、オールシーズン使えて便利ですが、重量も増えますので、軽量の生地を選びましょう。

眠りのプロショップ Sawada の保温力の表示方法

当社では次の5段階（●の数）で羽毛ふとんの保温力の段階を表しています。もちろん、住環境の違いや敷寝具の保温力、使う人の体質によって暖かさの感じ方は異なりますので、あくまで選択いただく場合の目安です。


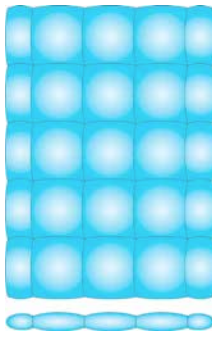
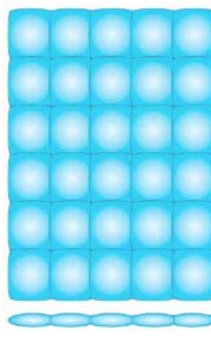
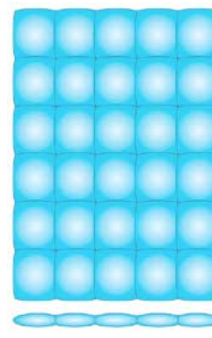
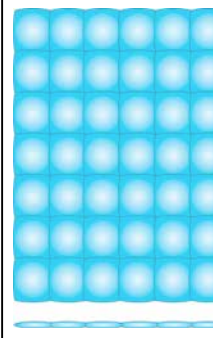
| | | |
|-------|------------------|-----|
| ●●●●● | 最も保温力が高い、寒がりの方向け | 厚手 |
| ●●●●○ | 一般的な冬の保温力 | 普通厚 |
| ●●●○○ | 普通厚より薄手の暑がりの方向け | 中厚 |
| ●●○○○ | 普通厚の約1/2程度の春向け | 合掛 |
| ●○○○○ | 普通厚の約1/3程度の夏向け | 肌掛 |

厚さ (=保温力) 別のキルティング仕上

暑がりや寒がり、使う人の体質や、部屋の保温力に合わせて最適な厚さを選ぶことが重要です。同じ厚さにする場合、生地の重量や羽毛のダウンパワー（かさ高性）によって羽毛の量が変わりますのでご注意ください。

オーダーでさらに細かな仕上げも可能です

眠りのプロショップSawadaの羽毛布団はオーダーシステム。どのようなサイズもお作りできますし、標準的な羽毛充填量を多めに、あるいは少な目にと、自由にご指定いただけます。快眠カウンセリングで最適な羽毛の厚さや組み合わせを提案しています。

| 保温力 | 厚手 ●●●●● | 普通厚 ●●●●○ | 中厚 ●●●○○ | 合掛 ●●○○○ | 肌掛 ●○○○○ |
|------------------------------------|---|---|---|--|---|
| キルティング | 2層 CON キルト 3×5 - 4×6 | 変形 5×5 | 5×6 | 5×6 | 6×7 7×9 |
| キルティング パターン |  |  |  |  |  |
| 生地: S9100 羽毛: 440dp 標準羽毛充填量 | 1,100g | 950g | 800g | 500g | 300~200g |
| 生地: WS8800 羽毛: 400dp 標準羽毛充填量 | 1,300g | 1150g | 1000g | 600g | 400~200g |

羽毛の充填量は生地重量と羽毛のダウンパワーdp（嵩高）によって異なります。一定ではありません

長く快適にお使いいただくために 羽毛ふとんのお手入れ方法



羽毛布団の
メンテナンス

陽当たりの良い室内干しを。布団乾燥機がおすすめ。

昨今は外に干すとPM2.5等さまざまなアレルゲンを不着させることが多いので、陽当たりの良い部屋での室内干しをおすすめしています。外に干す場合は、カバーを掛けたままにして、干し終わってからカバーを洗ってください。昨今はホースを差し入れるだけの簡単な布団乾燥機がありますので、お手軽でおすすめです。

側に穴を開けないで下さい

時々昔のおふとんのようにカバーを側地に縫いつけている方がおられます。羽毛ふとんの生地はダウンプルーフ加工をしておりますので、穴を開けるとそこから羽毛が少しずつ出てきます。もし、穴を開けた場合は補修布を使うか当店にご相談下さい。

軽く干してから収納

側生地に掃除機をかけ、乾燥させたあと、付属の袋に入れて押入の高いところへしまってください。シングルの場合ふとんを3×3 (三ツ折してさらに三ツ折) に折って下さい。ダブル、クイーンサイズの場合は3×4になります。

3～5年に1度の水洗いクリーニング

当店のオリジナル羽毛布団は基本的に手洗いでの水洗いを行うことが可能です。コインランドリーなどの使用は、ふとん側に負荷を与えるリスクがあります。基本的に3～5年に一度ですので、専門の丸洗いクリーニングで行っていただくのがベストです。丸洗いは当店でも受付しております。なお、ドライクリーニングでは側の汚れは取れても、羽毛の汚れは取れませんのでおすすめできません。

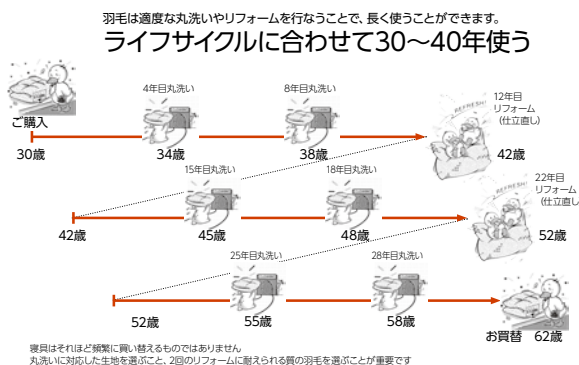
10年経ったらリフォーム (仕立て直し)

良い中身は30年以上使えますが、10年も使うと側地が弱り、中の羽毛が汚れ、ホコリが増えます。10年経ったらリフォームをおすすめします。

さわだの羽毛ふとんリフォームはドイツLorch社のシステムを使った、プレミアムダウンウォッシュと5段階除塵による国内最高レベルのものです。

リフォームの際には体質に合わせて、サイズや羽毛の量の変更もできます。

他店で購入された羽毛布団もできますので、お気軽にご相談ください。



羽毛布団のリフォームについては
専用サイト down-reform.com
をご参照ください。



羽毛ふとんQ&A

Q：電気毛布やあんかなどは使ってもいいのでしょうか

一向にかまいません。普通のふとんと同じ様に使えます。ただ、一般的に電気毛布は体の水分を奪い、なおかつ寝る時に体温が下がるのを阻害する働きがあり、睡眠の質が悪くなりますので避けた方がいいでしょう。敷毛布や敷パッドなど、ふとんの保温性をあげることをおすすめします。ピラベックの羊毛ふとんを従来お使いの敷ふとんに重ねて使うと、保温力や速暖性が改善して効果的です。

Q：子どもがおねしょをしてしまいました。どうしたらいいのでしょうか？

直ぐに丸洗いきリーニングをおすすめします。丸洗いをしている時間がない、代わりの布団がないなどの場合は、汚れた部分を風呂場でシャワー等をうまく使って洗います。その後干してください。乾きにくい場合は、ドライヤーを（余り近づけずに）使ってください。かなり広範囲の場合は布団を洗えるコインランドリー等で行うのもやむをえません。

Q：使っているうちに羽毛が片寄ってくるのですが？

それぞれのマスには羽毛を吹き込むための小さな穴がありますので、全く羽毛が寄らないわけではありません。旧型で片寄りが出た場合は、リフォームをおすすめします。当社オリジナル羽毛生地S9100以上の中厚・普通厚では完全立体キルト縫製をしておりますので、この場合は羽毛が片寄ることはありません。

Q：へたってきました。部分的に羽毛を足すことはできますか？

へたりが出やすい襟元など、羽毛が移動してしまったり、丸洗いしても十分に戻らない場合があります。10年経っていればリフォームですが、部分的に羽毛を足すことはできます。

Q：羽毛が吹き出るので、大丈夫でしょうか？

通常羽毛ふとんの側生地はダウンプーフという吹き出し防止の加工がなされていますが、縫い目からファイバーが若干出てくるのは避けられません。ヨーロッパ製やオリジナルのS9100生地は通気度が高く、羽毛の良さを引き出しますが、その一方で、吹き出しのリスクも上がります。また、一般のサテン生地ですと、水洗いをするダウンプーフが取れてしまい、ゴミの多い原料だと吹き出しが目立つ場合がありますので、その場合はご相談下さい。通常はリフォームによって側を取り替えるのがベストです。

Q：ダニや虫がわいたりとか聞きますが大丈夫ですが

まず、羽毛ふとんに使う生地はダニは通ることができませんので、中からダニや虫が発生することはありません。ダニの場合は、敷ふとんや畳が原因であることが多いのです。こまめに掃除をして、フケや角質などを取り除くようにすることをおすすめします。なお、掃除機はふとん専用掃除機は必要ありません。ふとん用のヘッドで通常の掃除機を使った方がよく取れます。

眠りのプロショップSawadaで扱っている羽毛ふとんは、原料レベルで非常に厳しいチェックを行っています。ご安心下さい。



快適で質の高い睡眠を得るために 羽毛ふとんの正しい選び方



羽毛布団の
選び方

ダウンの表示や嵩高だけにこだわった羽毛選びは間違い

羽毛布団の良し悪しを説明する際に、ほとんど場合羽毛の産地や鳥の種類やダウンパワーなど、羽毛の品質だけが語られます。しかし、この30年間、日本の生活環境は大きく変わりました。通気性を重視する伝統的な日本建築に対し、高気密高断熱住宅が大幅に増えました。快適な睡眠環境である温度33℃湿度50%を実現するためには、体質や睡眠環境に合わせて、生地の種類やキルティングを選ぶべきなのです。

羽毛ふとんの快適さは側生地が決まる

綿100%で軽量・高通気度の生地が望ましい

羽毛の良さを活かすためには、高い通気性と吸放湿性がある側生地が必要です。綿100%の生地は吸湿性に優れています。さらに軽い生地は乾きも早く、速暖性にも優れます。さらに通気性の良い生地を使うことにより、羽毛が本来持つ温度や湿度を快適に調節する能力を活かすことができます。従来使われてきた綿100%生地は、生地が重く(114~150g/m²) 通気度も1.3~1.7ccと高くありません。一方、当社オリジナル生地は生地が軽量(85~94g/m²)で通気度も2.6~3.5ccと高く、より快適です。ヨーロッパ製の生地だと5~6ccとさらに高いものもあります。

ポリエステルを使った羽毛側は蒸れやすくなる

コスト削減なのか、かつては綿100%が当たり前だった羽毛布団は、今日では多くがポリエステル100%かポリエステル混の生地になってしまいました。ポリエステルの側生地は通気性が悪いため、蒸れやすくなります。

現在お勧めしているのは、ヨーロッパ製の生地に加え、国産で通気度が2cc以上、100g/m²以下の軽量で高通気度の生地です。

| | 通気度(cc/s) | 生地重量(g/m ²) | 摘要 |
|--------------------|-----------|-------------------------|----------|
| ポリエステル生地・ポリエステル混生地 | ~ 1.0 | 80~100 | |
| 従来多く出回っている綿100%サテン | 1.1~1.7 | 114~150 | 60~80番手 |
| 超長綿80平織生地 SB8080 | 2.6 | 94 | 当社オリジナル |
| 超長綿100平織生地 S9100 | 3.2 | 85 | 当社オリジナル |
| ヨーロッパ製の綿平織生地 | 5~6 | 69~90 | 90~150番手 |

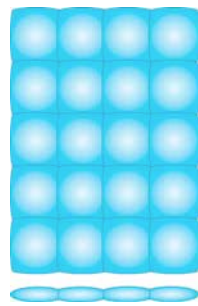
通気度が高い生地は、低品質の羽毛だとダウンファイバーなどのごみが多く、生地からの吹き出しができるリスクがありますので羽毛の品質とのバランスが重要です。

体質や住環境によって最適なキルティングと厚さを選ぶ

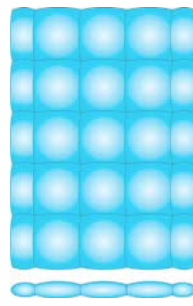
普通厚：変形5×5キルトー一般的な4×5キルトの欠点を改良

最も一般的な普通厚は、標準的な体質で、標準的な住宅にお住まいの方におすすめの基本となるキルティングです。

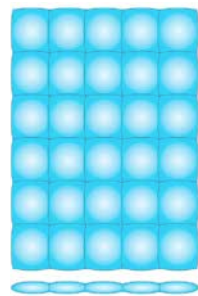
日本の場合、シングルサイズでは4×5マスのキルティングが一般的です。ところが、このキルティングは身体の中央部に縫い目が来て、熱が逃げやすくなるという欠点がありました。そこで眠りのプロショップSawadaでは、これを改良した変形5×5キルティングを標準にしています。これにより、同じ羽毛量でも保温力が改善し、身体へのフィット感が向上しています。



普通厚
一般的な
4×5キルト
身体の中央部に
縫い目が来て、
そこから熱が逃
げやすい。



普通厚
当社定番品の
変形5×5キルト
身体にフィット
しやすく、保温
性も改善されて
いる改良キルト



中厚
5×6キルト
30マスになり身
体へのフィット
と通気性が向上



厚手
二層CONキルト
保温性が高く、
偏りの少ない二
層構造

中厚：5×6キルトー30マスでフィット性と通気性も向上

暑がり体質や、高气密高断熱住宅では普通厚は暑すぎる傾向があり、キルティングマスを増やした中厚仕上げがおすすめです。マスを増やすことで身体へのフィット性も通気性も向上します。都市部のマンション等では、中厚より薄い合掛を求められるケースも増えてきました。

厚手：二層式キルティング

冬冷え込む地域での伝統的な日本家屋であったり、寒がりや冷え性など保温力を必要とされる方には、より保温性の高い二層構造キルティングをおすすめします。二層構造は表生地と裏生地の間にもう一枚生地を挟んで、表側と裏側のキルティングを変えることで、縫い目からの熱放射をふせぎます。一般にはシングルで表3×4、裏4×5が多いのですが、襟元の偏りが出やすいため、当店では表3×5、裏4×6のより安定した二層CONキルトを採用しており、さらに定番品では間の生地を通気性の高いメッシュを使うことで、蒸れやすいという欠点を改善しています。

メーカーの高級品には二層タイプが多いのですが、昨今の住環境の変化を考えると二層構造が必要なお客様は減っていますので、事前にカウンセリングをおすすめします。



羽毛ふとんの耐久性と快適性は羽毛の質で決まる

愛情を注ぎ、自然な状態で元気に育ったダウンが一番

ポーランドやハンガリーなどの羽毛の産地、ダウン率やマザーグースなど羽毛の違いが説明されていますが、一番大切なことは自然な状態で元気に育った鳥から得られる羽毛が、一番品質が良いという当たり前のことです。十分に育ったダウンボール、丁寧に分けられたごみの少ない羽毛、きれいに洗浄されて安全であることが、羽毛の品質の証です。

十分に育てられた大きなダウン (ダウンクラスタ)

しっかりと育ててダウンボールの中央が密集した羽毛は、長く使ってもダウンボールが壊れにくいのです。逆に、飼育期間が短いと未成熟ダウンが多くなり、これらはダウンファイバー (羽毛ゴミ) となって嵩が減ってきます。大きなダウンボールはリフォーム時にも嵩が戻りやすいのです。

パワーのある羽毛は少ない量で嵩がでます。そのため、空気が沢山含まれるために保温力に優れ、暖かく、吸放湿もすばやく行われます。

ダック (家鴨) よりグース (鵞鳥) が良い

羽毛を採取する鳥は家鴨 (ダック) や鵞鳥 (グース) などがあります。ダック(3~4kg)とグース(5~8kg)ではグースのほうが体長が大きいためダウンボールが大きく、いい羽毛が採れます。ダックは油脂分が多く臭いが出やすいのと、一般的にダウンファイバーが多い傾向にあります。羽毛の色にはホワイトとグレーがありますが、本質的には色による品質の差はありません。

良い羽毛を探すとポーランド?

ポーランドの羽毛が全て良い訳ではありませんが、良い羽毛がポーランドに多いのは事実です。これは、グースの品種が厳密に管理されているのと、個人農場が多いため、丁寧に育てる農家が多いためといわれています。どのような天然素材でも、本当に良いものは個人の小さな農場で愛情を持って育てられたものであることは、世界中同じようです。

ごまかしの羽毛はリフォームをするとわかる

どれだけ表示が良くても、質の良くない=飼育状態が良くない羽毛は使用しているうちに、壊れて嵩がなくなります。リフォーム加工を行うと、はっきりします。質の劣る羽毛は多く損なわれ、嵩の戻りが悪いのです。逆に良い羽毛は減る量が少なく、嵩も戻ります。

羽毛の品質基準について

嵩高性を表すダウンパワー (dp) とは

羽毛の嵩高性を表す数値です。ダウンボールが大きく、しっかりしているものほど高いダウンパワーが得られます。羽毛の品質を表す目安になります。

ゴールドラベルとは



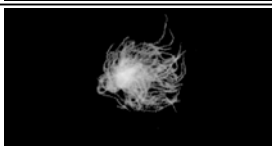
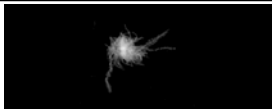

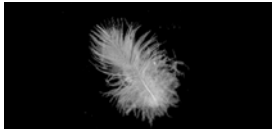

ゴールドラベルは日本羽毛製品協同組合が認定するラベルでゴールドラベル (300dp以上)、エクセルゴールドラベル (350dp以上)、ロイヤルゴールドラベル (400dp以上)、プレミアムゴールドラベル (440dp以上) に分けられます。眠りのプロショップSawadaが扱うのはロイヤルゴールドラベル相当、400dp (ダウンパワー) 以上の羽毛のみです。

ダウン率とは

羽毛のなかで、ダウン (胸毛) とスモールフェザー (小羽根) の割合です。ダウン率が50%以上を「羽毛布団」、50%未満を「羽根布団」と呼びます。羽毛の良し悪しの基準にもなりますが、ダウン率だけでは良し悪しの区別は付きにくくなっています。

産地と洗浄について

良質の羽毛はポーランドやハンガリーなど品種管理と生育管理がしっかりした、高緯度の国が多いですが、圧倒的に量が多いのは中国産で、洗浄の丁寧さによって臭い等の発生がします。品質管理がしっかりした工場での軟水による国内洗浄がベストです。

| | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|
| ダウン (クラスタからファイバーまでを含みます) | ダウン クラスタ | 通称ダウンボールと呼ばれ、球状をした胸毛の羽毛です。 | ポーランド ホワイトグース (飼育 17 週) 440dp |  |
| | | グースの方がダックより体長が大きいので良質のものが採れます | ハンガリー ホワイトグース (飼育 12 週) 400dp |  |
| | | 飼育環境に優れ、時間をかけて育てた羽毛はダウンボールが大きく長く持ちます | 中国 ホワイトダック (飼育 8 週) 320dp |  |
| | 未成熟ダウン (プルミュール) | まだ未成熟で小さく貧弱なダウンは、飼育期間が短い羽毛に多く、使用と共に壊れてファイバーになりやすい | |  |
| ファイバー | ダウンクラスタや未成熟ダウンが壊れたもの、羽毛のゴミ。ホコリの元になる。規格上は9%未満となっている | |  | |
| スモールフェザー | 長さ6.5cm未満の水鳥羽根。ネックフェザーという首元の鋭い小羽根は生地から飛び出しやすい。 | |  | |
| フェザー | 長さ6.5cm以上の水鳥羽根 (クッション等に用いられる) | |  | |

絡みが強く、暖まった空気を閉じ込めます ステッキークースダウン

眠りのプロショップ Sawada がおすすめするステッキークースダウン

羽毛の最高峰といわれるアイスランド・アイダーダックダウンはダウンが密に絡み合い、その中に暖まった空気を閉じ込めますので、非常に保温力が高く、登山隊のアンダーウェアにも使われるそうです。

寒暖の差が激しい地域の羽毛の中には、絡みの強いダウンがごく僅か取れます。これをステッキー（粘っこい）ダウンといいます。アイダーダックダウンほどの絡みはありませんが、ダウンボールが大きく、ホコリも少ないのが特徴です。眠りのプロショップSawadaでは、出回ることの少ない、この希少な羽毛を世界中から集めて、アイダーダウンに次ぐトップグレードとして位置付け、ラインアップしています。



アイスランド・アイダーダックダウン

ステッキークースダウンは量が非常に少ないので、毎年1月に開催されるドイツ・ハイムテキスタイル見本市で実際の羽毛をチェックして選びます。



ポーランド・スーパープレミアム 手選別
ステッキークースホワイトグースダウン

下図のように、最高級のステッキークースダウンをさらに手選別によってホコリを取り除いています。非常に手間のかかる最高級ダウンです。



新品も、リフォームも店内で一貫して加工してお届け 羽毛工房ーダウンラボ

全ての工程を自社で丁寧に仕上げます

こだわり抜いた品質の側と羽毛+製造直売でリーズナブルプライス

汚れてへたりやすい襟元や中央部は多めになど、実際にお使いいただく状態を推定して丁寧に仕上げています。ふとん側生地はヨーロッパ直輸入あるいは当社オリジナル仕様の生地を、国内の提携工場で縫製しています。

羽毛は、日本でも最高レベルの河田フェザーの原料に加え、最高級品は毎年直接ヨーロッパへ行って買い付けを行なっています。その一方で、販売価格は基本的に側代+羽毛代という明朗会計なので、別注品だからといって高くなりません。

製造直売ならではのメリットを活かし、高品質の羽毛ふとんを自社製造しています。

ドイツ・Lorch 社羽毛リフレッシュマシンを導入

ドイツ・Lorch社の羽毛リフレッシュマシンを導入しています。ドイツの優良な寝具店には必ずといって設置されているこの機械は、日本の寝具店としては当社含め2社だけです。羽毛布団を1枚ずつ解体して、直に洗浄する方法でなので、袋に入れて何枚かまとめて洗う方法に比べ、よりきれいに洗うことができる最高レベルの洗浄方法です。

Lorch社は世界中の羽毛工場の洗浄・選別システムを手掛ける会社で、このマシンはリフレッシュ専用として製造されました。これにより、トップクラスの洗浄を実現したのです。

さらに新型の除塵機+サイクロン充填機を導入

5段階の除塵で羽毛のゴミを取り除きます

さらに除塵機と充填機を一新。Lorchのリフレッシュマシンから仕上がった羽毛は除塵機に通して、さらにゴミを取り除きます。1g単位で充填調節可能なサイクロン充填機で、サイクロン機構によりゴミを取り除きながら正確に充填します。充填の手間は倍になりますが、通常の工場ではできない丁寧な5段階の除塵体制でお仕立てをいたします。さらにオゾンによる殺菌脱臭処理を行なっています。

店頭において
国内屈指の設備を誇る
羽毛工房ーダウンラボ



定期的なリフォームによって、長く使いましょう 10年経ったら羽毛リフォーム

通常の1.5倍の時間をかけて丁寧にリフォームします

羽毛ふとんは定期的にリフォームすることによって、長く使えるエコロジーな製品です。10年ぐらい使うと、側が弱ってくるだけでなく、中の羽毛も汗によって汚れてへたりが出てきます。これを仕立直し（リフォーム）することにより、良いものであれば50年以上も使うことができます。

羽毛ふとんのリフォームは、中の羽毛を取り出して直接洗いを行うプレミアムダウンウォッシュと呼ばれる方法がベスト。眠りのプロショップSawadaでは、ドイツ・Lorch社のリフレッシュマシンを使って直接洗い+除塵+選別を行います。

さらに、大型の除塵機を通すことによって、細かなファイバーやチリをさらに取り除き、サイクロン機構によってもう一度ゴミを取り除きます。この5段階に渡る徹底した除塵によって世界でも最高レベルの羽毛ふとんリフォームが可能になっているのです。



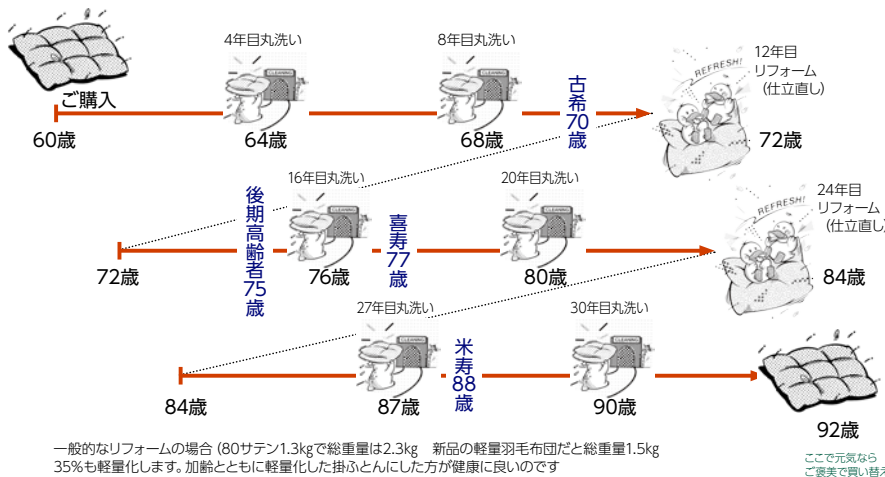
リフォーム前、側が汚れて嵩が減っている



リフォーム後、新品のようにふっくら甦ります

60歳、羽毛布団はリフォームすべきか、買い替えるべきか？

答え： ライフサイクルを考えると60歳は買い替え時期



リフォームする際には、現在の体質や寝室の保温性などを考えて、カウンセリングを行います。

ライフサイクルを考えてリフォームするか、買い替えるかを判断いただけます。

その上で、最適な生地やキルティング、厚さやサイズなどをご提案いたします。

羽毛ふとんのリフォーム工程

古い羽毛ふとんから、
羽毛を取り出して
リフレッシュマシンに



洗浄は
洗剤洗 1 回
すすぎ 2 回



乾燥+殺菌処理+
除塵
不良羽毛を選別
オゾンで殺菌脱臭



除塵機へ移動
さらにファイバー
を選別



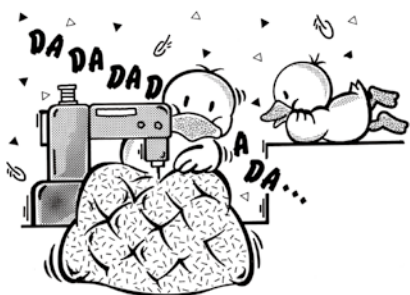
リフレッシュした羽毛を
軽量して足し羽毛



サイクロン充填機で除塵
しながら充填



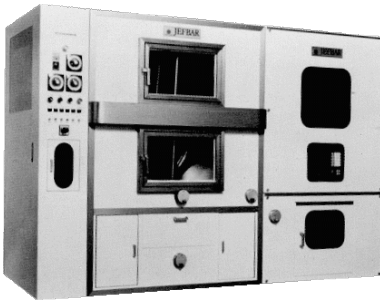
新しいふかふかのふとんの出来上り
120 分かけて丁寧に仕上げます



快適な羽毛布団は如何にあるべきか 本物の羽毛布団を求めて

家業を継ぐために帰ってきた1983年、羽毛ふとんの普及率はまだ5%程度、訪問販売やマルチまがいの販売方法で羽毛ふとんが売られており、社会問題にもなっていた時期です。数年して急激な円高とともに、羽毛ふとんも急激に値段が下がっていき普及率は増えていきました。しかし、その一方で価格を追い求めるあまり、「これは・・・」というような品物が増えてきました。それまで、表示と中身がほぼ一致していたものが、そうでないものが多く流通し始めました。

羽毛ふとんを自家製で - R&R システムを導入



最初に導入した
R&Rシステム

「このままでは、いけない」 1987年に羽毛ふとんの仕立てと簡単なリフォームができるR&Rシステムを導入しました。自家製で作ることにより、中身を確実なものにするためです。導入のメリットは3つありました。

まず、羽毛というものを真剣に勉強することができ、正しい知識が得られるようになったということです。それまではといえば、普通のふとん屋同様、メーカーの言いなりでした。天然の品である羽毛は、もちろんさまざまな要素によって等級がいくつにも分けられます。原料屋さんによっても同じ表示でも全然違う品質であることが、しばしばありました。品質にばらつきがあって返品したことも数知れず。プロの目を持つことができたのが何よりです。

次に、自家製で作れるため、お客様にとって最適の厚みやキルティング方法を選ぶことができるようになったということです。人によっては薄目の方がいいという方もあり、嵩があった方が暖かくていいという方もあります。そしてなによりは、製造直売でお届けすることによって、良い品質の羽毛布団の価格をぐっと下げることができました。

ヨーロッパから原料を、オリジナル羽毛ふとんの開発へ

1987年にカウフマン社の羽毛に出会いました。初めてみるダウンボールの大きなステッキークースダウンなど、今までの羽毛とは異なる高いレベルの羽毛に驚き、ヨーロッパへ行って産地や原料加工の現場をみたことが大きな刺激となり、「本物の素材を使った、さわだオンリーのこだわり商品」を作っていこうと考えました。

現在では毎年1月にヨーロッパへ行き、カウフマン社をはじめとして、前年に採れた品質の良いダウンや羽毛ふとん用の生地を選びすぐり、側縫製は日本でを行い、店内工房で吹き込みを行なうことで、本物の素材を使った高品質な羽毛ふとんをお届けしています。

快適な眠りのための羽毛布団を求めて、 睡眠環境コーディネーター・睡眠健康指導士の取得

一方、本当に快適な眠りとはどういうことなのか、それを求めて日本睡眠環境学会認定の睡眠環境コーディネーターや滋賀医科大学睡眠学講座認定の睡眠健康指導士を取得、品質が良いのはもちろんですが、お客様が快適にぐっすり眠れる睡眠環境をどのようにしていくか、という研究も続けています。

ポーランドのマザーグース農場



環境に優しくー寝具のグリーン購入とSDGsの推進

粗大ゴミの一番がふとんといわれています。であるとか・・・、これからは使い捨てをせず、良いものを長く使う、環境に負荷をかけない時代になります。羽毛ふとんのリフォームの推進や、できるだけ天然素材を使い、エコテックス規格の素材の採用をするなど、できる限り環境に優しい寝具のグリーン購入を推進しています。現在ではSDGsと呼ばれる取り組みの先駆けとして、2007年には第9回グリーン購入大賞で中小企業部門の大賞を受賞しました。

独 Lorch 社羽毛リフレッシュシステムを導入・全面改良

2006年に店頭設置としては全国で2番目に導入しました。羽毛を直接洗うプレミアムダウンウォッシュ方式なので、これで完全な洗浄を行うことができるようになりました。さらに、2009年には除塵を徹底するために、除塵機とサイクロン充填機を導入して、国内では最高レベルの設備を揃え、独自の高品質な羽毛布団をお届けしています。

自家製羽毛布団のみに全面切り替え、製品仕入れは中止

2010年からは羽毛ふとんは完全に自家製のみに切り替えました。有名メーカー製といえども羽毛の品質が不安だったからです。これらの他にない取り組みによって、2015年には経済産業省のがんばる中小企業・小規模事業者300社に選定をいただきました。

太陽光発電+再生エネ 100%電力を導入し、CO₂ 排出を大幅削減

2018年には本店・羽毛工房ダウンラボの屋根に太陽光発電を設置し、さらに2021年にアスエネの再生エネ100%電力を導入しました。羽毛布団を製造したり、リフォームする電気のCO₂をゼロにするなど、さらなる環境負荷の低減に努めています。

オリジナル羽毛布団生地を開発ーより快適な眠りに

羽毛布団に最適な生地は綿100%の平織で軽量、通気性が良いものです。ヨーロッパの羽毛布団用の生地と同等な生地 (S9100・SB8080) をオリジナルで作ри、より快適な羽毛ふとん作りを今なお極めてしています。さらに、使用する側生地は全て、日本製生地を国内縫製したものに、より高い品質を実現しています。



睡眠環境コーディネーター・上級睡眠健康指導士
四代目店主 沢田昌宏

2016年5月TBSテレビ「ひるおび」
羽毛産地偽装報道において羽毛布
団の専門家として出演

店主がこだわりぬいて選んだ

羽毛原料と生地のリスト

TE270・TE200

ドイツWeidmann社製の超軽量で通気性の高い羽毛布団生地です。通気性が高いので基本的にダウン率95%以上のステッキードウンを使うのが原則です。2022年バージョンは250cm巾の生地ですので、セミダブルサイズ以上でも接ぎがありません。

S9100

国産で最軽量の超長綿100番手の平織り生地です。眠りのプロショップSawadaのオリジナル仕様で、ソフト加工であるカムフィット加工を2回行い、椿オイル加工で保湿性を高めています。通気度は、国内基準の上限に近い3.2cc (生地ロットによって異なります) にしていますので、ダウン率93%、430dp以上のグース羽毛を推奨しています。国内製織・国内仕上げです。

注：通気度が3.0cc以上だと、ダウンファイバーが少し吹き出ることがあります。

SB8080

超長綿80番手の平織り生地です。眠りのプロショップSawadaのオリジナル仕様で、シルクプロテイン加工を施してあり、平織に出がちなペーパーノイズを抑えています。通気度は、サテンの通常の約2倍2.6cc (生地ロットによって異なります) にしていますので、リフォームを含め、ほとんどの羽毛を使うことができます。

| 生地名 | 生地ベンダー | 組成 | 糸番手 打込本数 | 生地重量 (/㎡) | 通気度 (cc/s) |
|--------|---------------------|---------------------|-----------------|--------------|---------------|
| TE270 | Germany Weidmann | 綿100% バティスト | 120/150 380本 | 69g | 6.0 |
| TE200 | Germany Weidmann | 綿100% バティスト | 110/110 351本 | 75g | 5.0 |
| S9100 | 日本 当社オリジナル | 綿100% マハール バティスト | 100/100 350本 | 85g | 3.2 |
| SB8080 | 日本 当社オリジナル | 綿100% バティスト | 80/80 320本 | 94g | 2.6 |
| AD200 | Germany Weidmann | 綿100% プレミアムサテン | 120/120 485本 | 94g | 1.5 |
| SE1014 | 日本 | 綿100% サテン | 140/100 | 101g | 1.1 |
| WS8800 | 日本 | 綿100% スーピマ サテン | 80/80 405本 | 114g | 1.7 |
| TN54 | 日本 | 綿100% ツイル | 50/40 273本 | 137g | 1.3 |

■はおすすめる平織軽量の生地です。

厳選されたオリジナル羽毛布団の原料

毎日お使いいただく羽毛ふとんには、原則として400dp以上ロイヤルゴールドラベル以上を推奨しています。
原産地そのものは優劣とあまり関係ないため、原産地は () で表記しています。

2022.6.1現在

| 日羽協のラベル基準 | クラス | ダウンパワー | 表示 | 羽毛の種類 | 原料価格 (kg) 税込 | コメント |
|---|-----|--------|--------|---|--------------|--------------|
| 特別に選別された絡みが非常に強い (ステッキ) なダウン絡みが強いために、嵩高は多くでないが保温性に優れている 手選別のためゴミも少ない | SP | | ED95N | アイダーダック【手採取・手選別ステッキ】 ダウン95% (アイスランド) ナノクリスタル加工 | 1,100,000円 | 相場によって変動します |
| | I | 480 | PPST98 | [ANIMEX] スーパープレミアム手選別ステッキ ホワイトグース ダウン98% (ポーランド) | 330,000円 | 限定品 |
| | I | 450 | PMST95 | [Kauffmann] ステッキホワイトグース ダウン95% (ポーランド・ボメラニアン) | 242,000円 | 限定品 |
| | I | 430 | PST95N | ステッキホワイトグース ダウン95% (ポーランド) ナノクリスタル加工 | 165,000円 | 限定品 |
|  プレミアム ゴールドラベル 440dp以上 | II | 440 | HWG95 | ホワイトグース ダウン95% (ハンガリー) | 143,000円 | スポット |
| | II | 440 | HWG95 | ホワイトグース ダウン95% (ハンガリー) | 121,000円 | 定番品 |
|  ロイヤルゴールド ラベル 400dp以上 | III | 430 | PWG93S | ホワイトグース ダウン93% (ポーランド) | 99,000円 | 定番品 |
| | III | 410 | PWG93 | ホワイトグース ダウン93% (ポーランド) | 77,000円 | 定番品 |
| | III | 400 | RWG93 | ローマンホワイトグース ダウン93% (台湾) | 55,000円 | スポット |
| | IV | 400 | FPD93S | ミューラーホワイトダック ダウン93% (フランス) | 40,000円 | 定番品 |
| | IV | 400 | FPD90A | ミューラーホワイトダック ダウン90% (フランス) | 35,000円 | 定番品 |
|  エクセルゴールド 350DPI以上 | V | 350 | WD85 | ホワイトダック ダウン85% (台湾) | 30,000円 | 通常 取り扱い無し |
| | | | | | | |
|  ニューゴールド 300DPI以上 | | | | 当店では取り扱いません | | |
| | | 300 | | ※羽毛原料や生地については、産地等の状況で変更になったり価格が変動することがあります | | |



ダウンパワー測定器

(1DP = 1cm³/1g)

専用の測定装置の中に羽毛を入れ、布団の中の羽毛と同程度の圧力をかけて容積を計る。羽毛は35gを採取し、規程のドライヤー処理やスチーム処理等を施し、30gを取って試験試料とする。
平成24年4月1日より実施





ご質問、サポートはインターネットでも受け付けます
ご相談はメールにて：info3@sleep-natura.jp
ホームページでは様々な情報を提供しております



快眠寝具研究室
<https://sleep-natura.jp>



羽毛布団リフォーム
<https://down-reform.com>

長く使う、再利用する、自然に還る

眠りのプロショップ Sawada は地球環境に対する負荷を軽減するため、
上の3つのテーマをもとに寝具のグリーン購入を推進し、
SDGsの実現に向けての取り組みを行っています。



2007年 第9回グリーン購入大賞 中小企業部門 大賞受賞
2015年 経済産業省がらばる中小企業・小規模事業者300社選定
(一社) 滋賀グリーン活動ネットワーク 理事